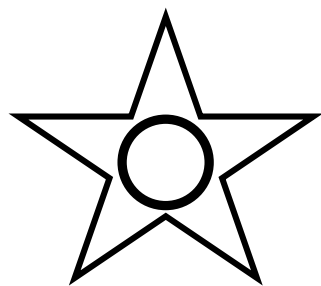


～ つながる まち・ひと・みらい
ひがし北海道の拠点都市・釧路 ～




2019年度 市政懇談会

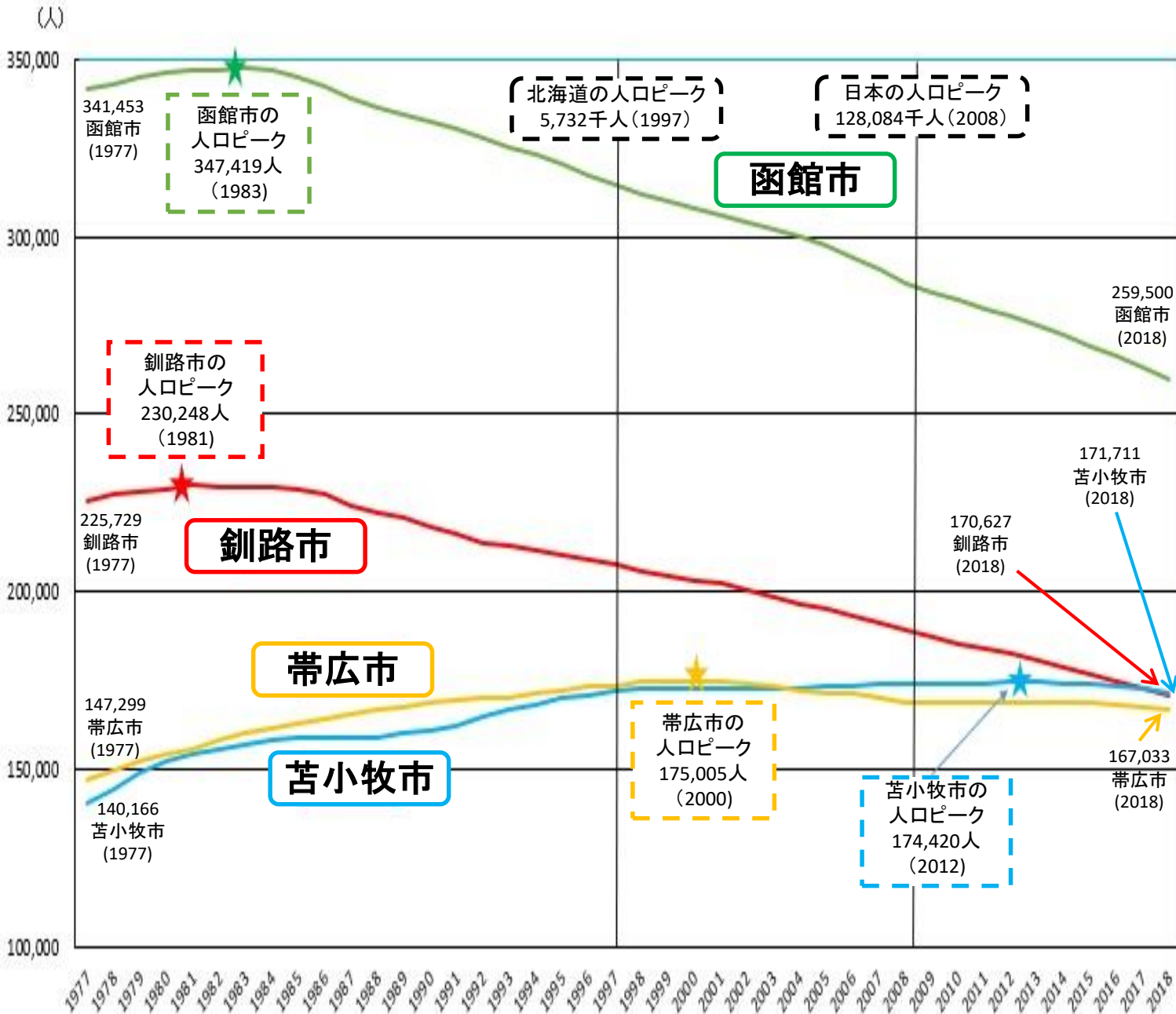


北海道釧路市



※  が付いている事業は「釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の事業です

釧路市の現状と課題 ～道内主要都市の人口の推移（各年9月末）～



● 早くに人口のピークを迎えた**函館市**、**釧路市**は人口減少のペースが比較的早い。

※函館市: 35年間で8万8千人減少 △2,512人/年
 ※釧路市: 37年間で6万人弱減少 △1,611人/年

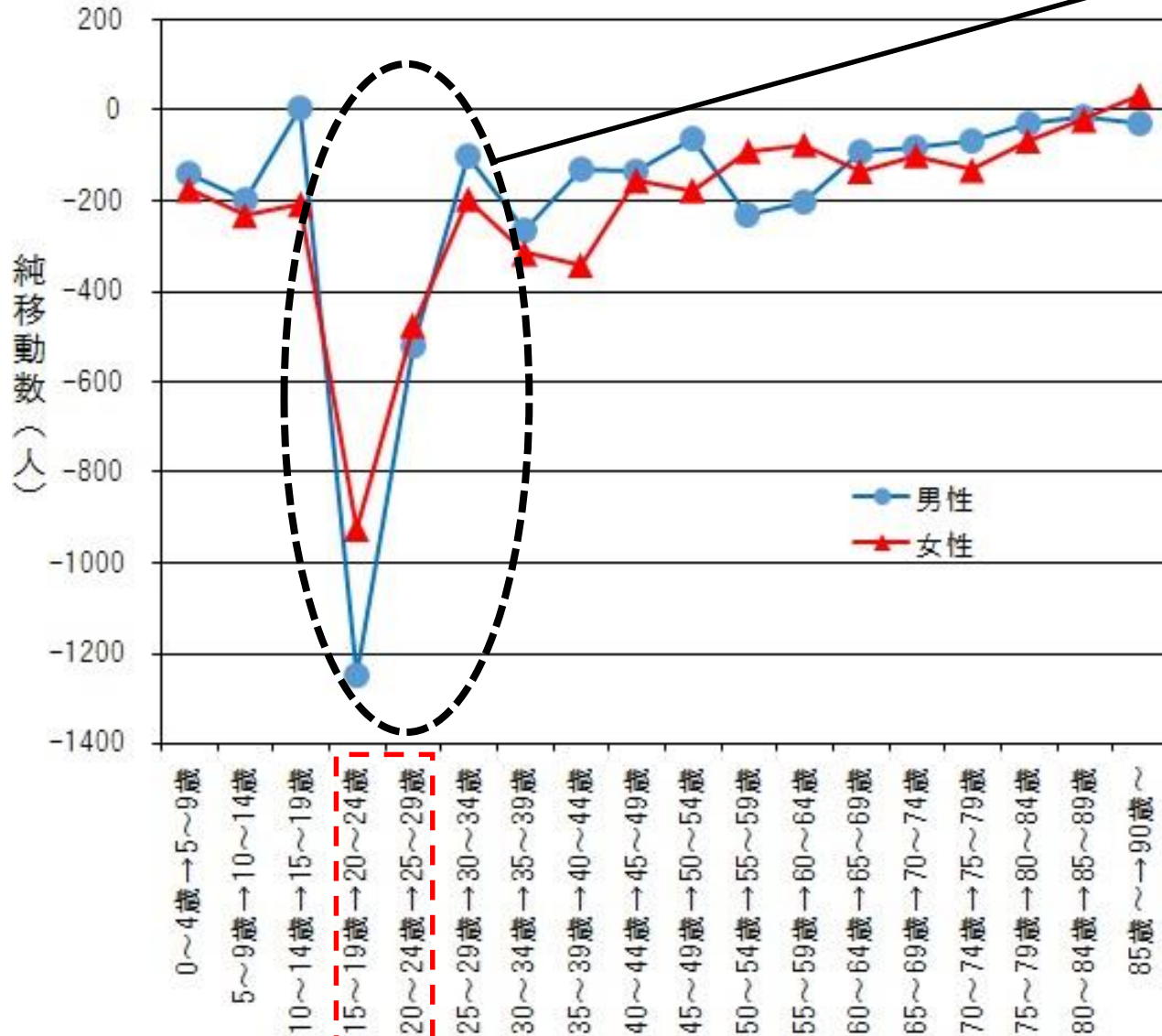
● 人口のピークが遅かった**苫小牧市**、**帯広市**は人口減少のペースが緩やか。

※苫小牧市、帯広市はともにピーク時より数千人数程度の減少にとどまる。

【資料】住民基本台帳人口、人口推計(総務省)
 (注1) 釧路市、函館市は合併以前の旧町村を含む。
 (注2) 平成24年以降は外国人住民を含む。

釧路市の現状と課題 ～若い世代の人口流出～

平成17(2005)年→平成22(2010)年の
性別・年齢階級別人口移動

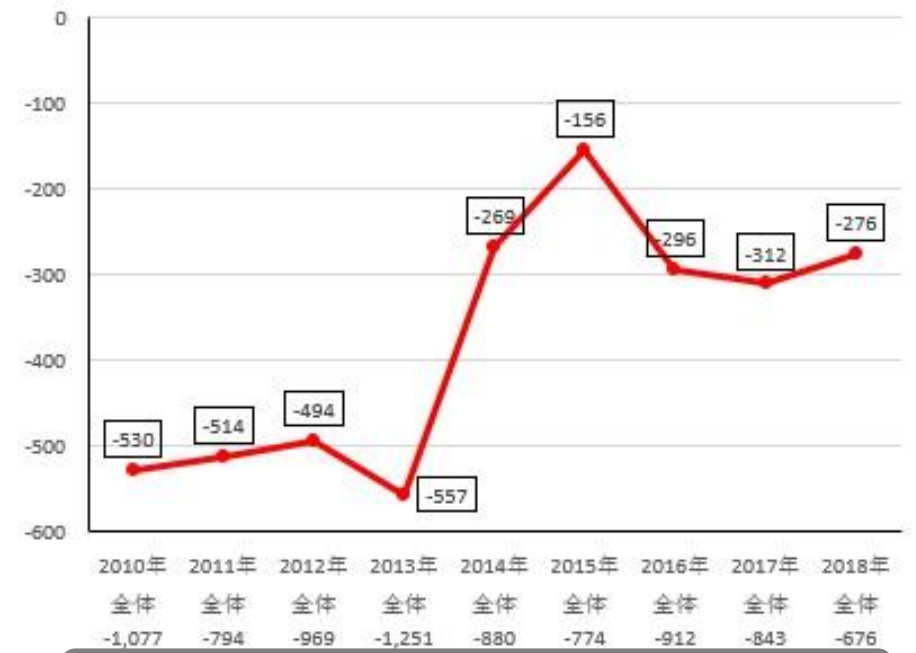


20～24歳の若い世代が転出する傾向



- ・若い世代の転出は、卒業後の就職に伴うものが多い
- ・働く場所を、地元確保することが重要

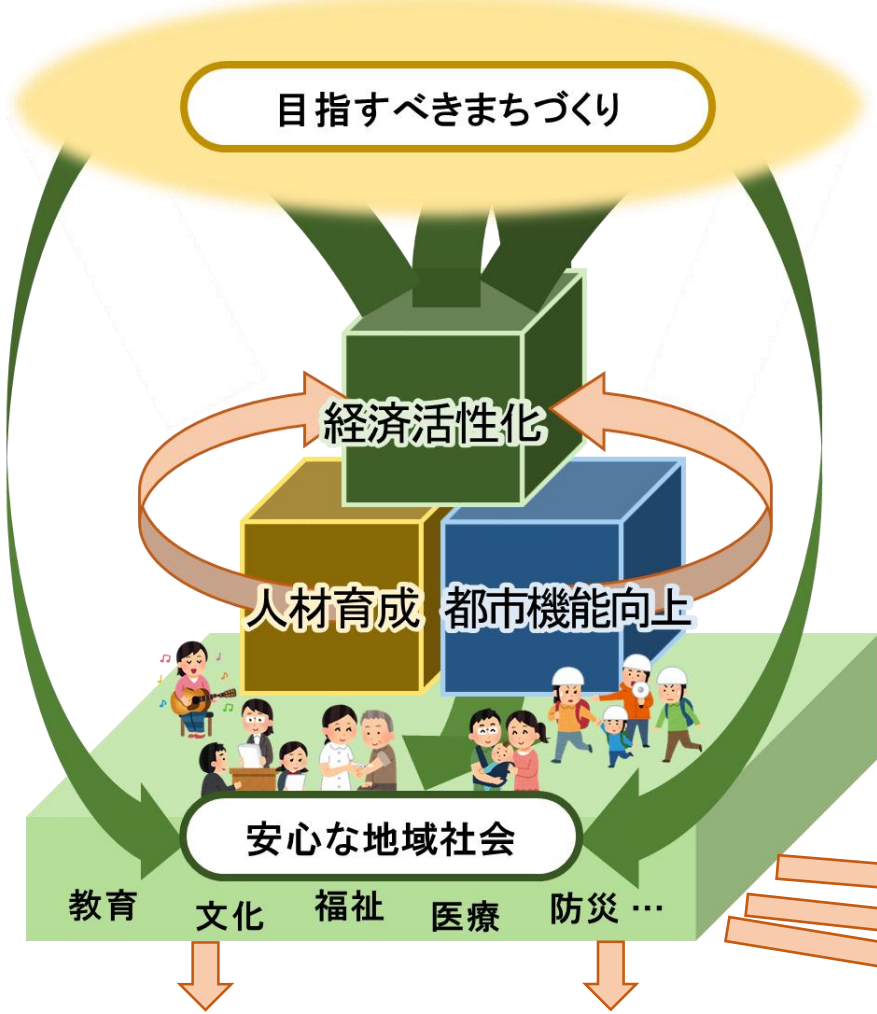
「15～29歳」合計の人口移動の状況 (人)



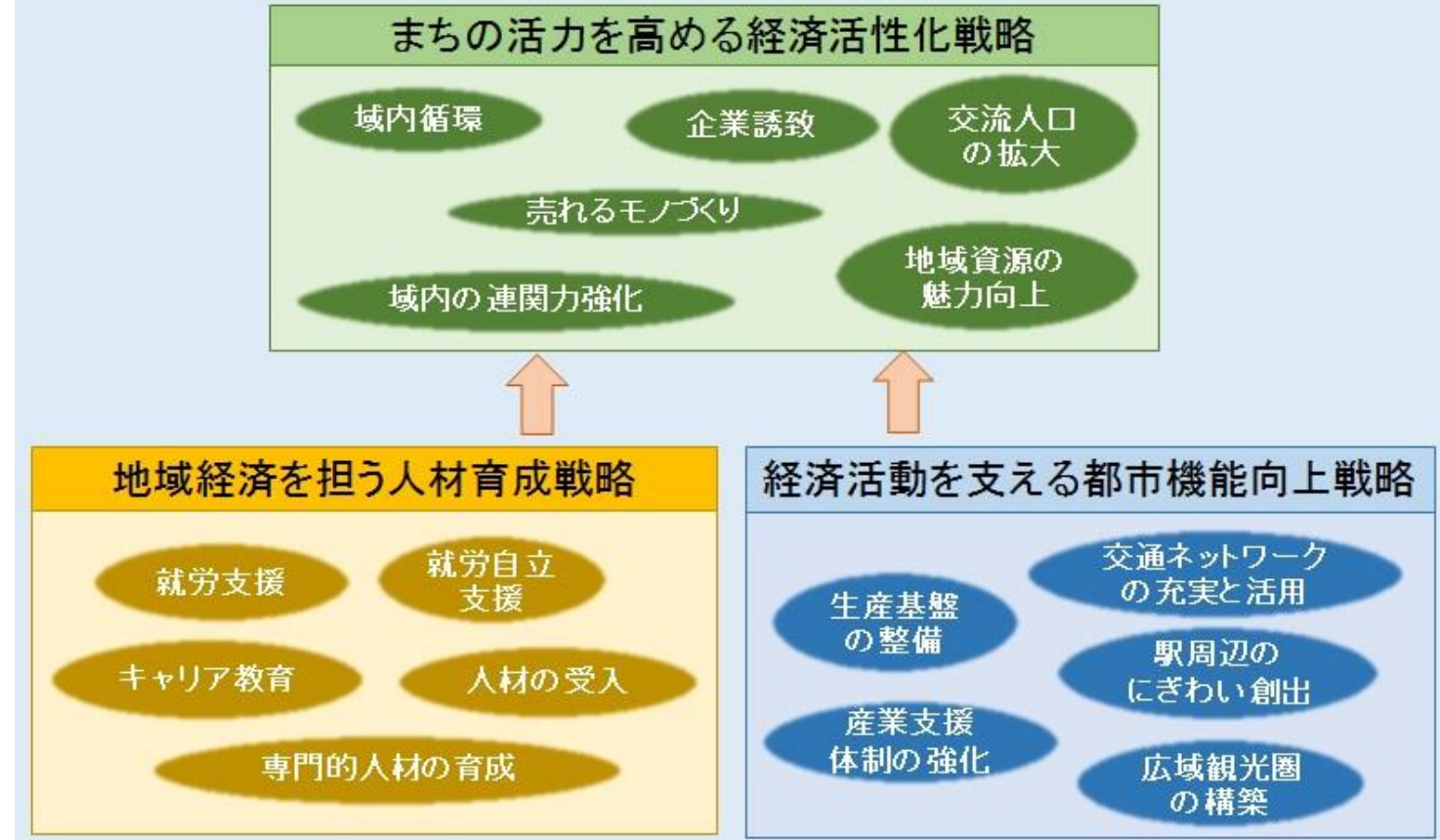
近年は、社会減が低減化

釧路市まちづくり基本構想（重点戦略 ～経済活性化を主軸とした3つの柱～）

【重点戦略のイメージ】



【重点戦略の概要】



雇用の拡大
人材の確保

子育て環境に
係る施策

学力向上に
係る施策

防災に
係る施策

都市機能向上に
係る施策

雇用の拡大・人材の確保（域内連関）

雇用の拡大と人材の確保を核とした地域経済の活性化



雇用の拡大・人材の確保

中小企業者等への伴走型支援 5,957万円

地域の「挑戦する企業」を育てるため、地域が一体となった産業支援体制を確立するとともに、事業の持続的な発展に必要な稼ぐ力を高める体制の構築に努めます

○ビジネスサポートセンター事業(拡)(再掲)

- ・ 釧路市ビジネスサポートセンターk-Bizの相談対応体制の強化(プロジェクトマネージャー等の配置) 等



ビジネスサポートセンターk-Bizの相談風景



地域が一体となった支援体制



人材確保・定着促進 464万円



UIJ ターンによる道内外からの人材誘致や学生・生徒に対する地元産業への理解促進など、人材の育成・確保を推進します

○UIJターン推進事業(拡)(再掲)

- ・ 就職マッチング制度の運用と帰省シーズンに合わせたUIJターン就職個別相談会の開催
- ・ 国や北海道と連携した「わくわく地方生活実現政策パッケージ事業」による東京圏からのUIJターンの促進

○人材確保・定着促進事業(新)(再掲)

- ・ 地元高校生等を対象とした、地元企業の魅力等を伝える取り組みの実施

UIJターン企業情報誌



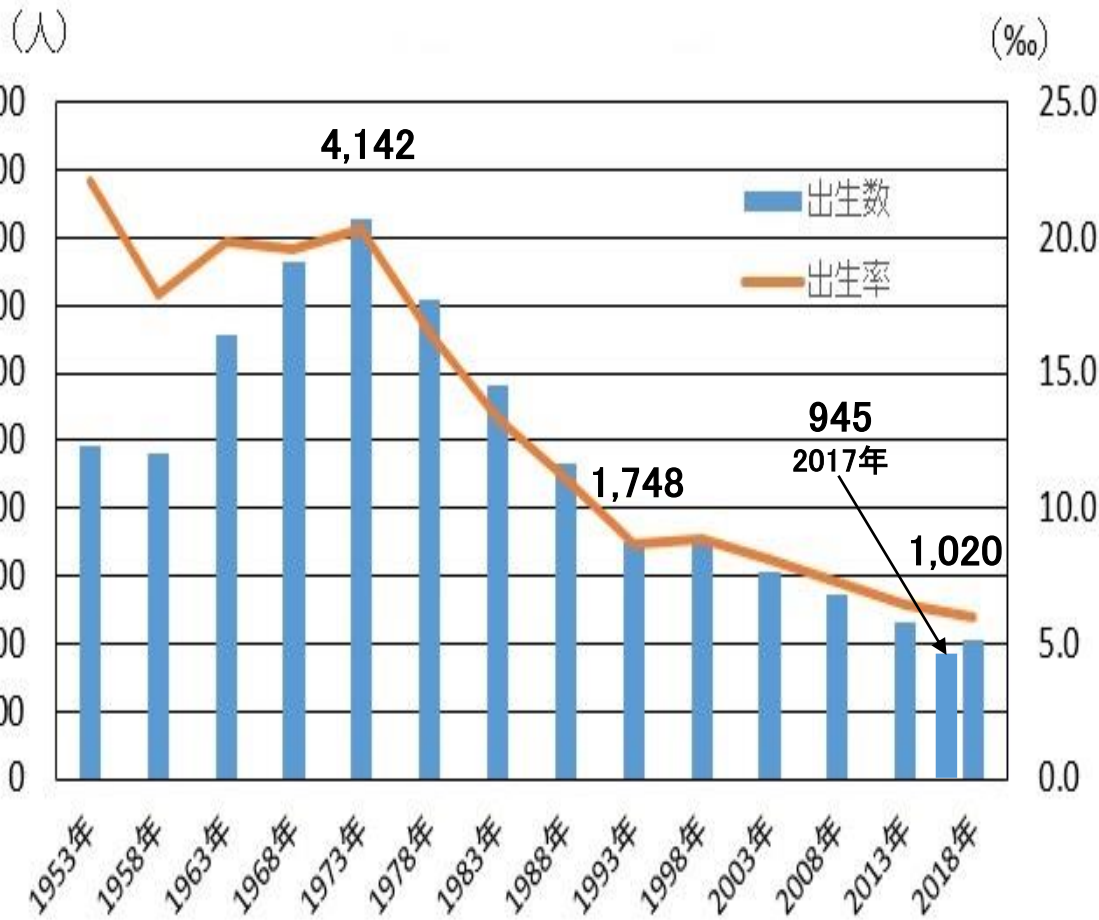
UIJターン就職個別相談会



成人式でのPR



釧路市の出生数と出生率の推移



(注) 2003年までは旧釧路市

例えば

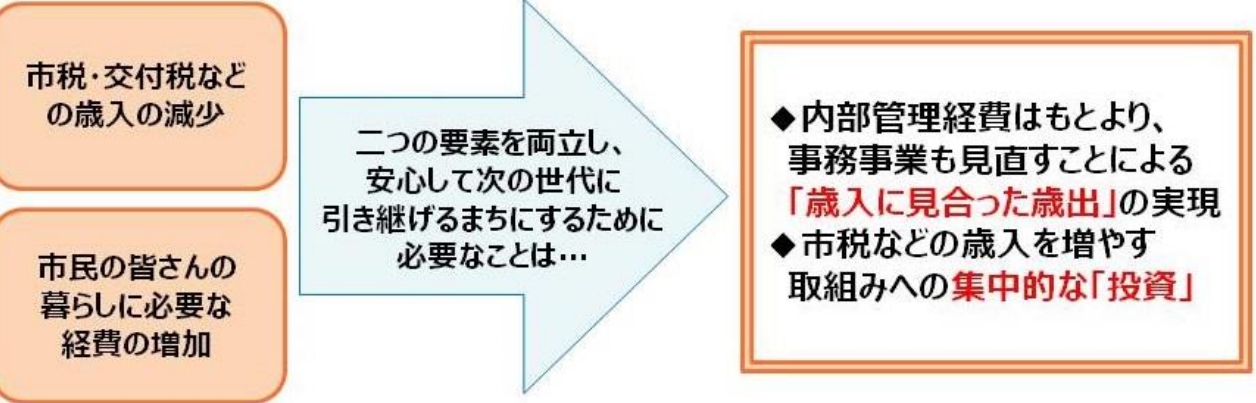
高齢者、子ども・子育てに関する事業費の一般財源と人口の推移 (当初予算)

高齢者関連経費では、**高齢者人口の増加**に伴い必要な事業費の一般財源も増加していますが…

子ども関連経費では、**こどもの人口が減少**している一方で必要な事業費の一般財源が増加しています。



※高齢者関連経費：介護保険特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金及び負担金、老人福祉費、老人医療費の合計額
 ※子ども関連経費：児童福祉費、教育総務費、小学校費、中学校費、幼稚園費、乳幼児等医療費、ひとり親家庭医療費の合計額
 ※人口：前年度末現在 (平成31年度の値は、平成30年12月末現在)
 ※高齢者人口：65歳以上の人口 ※子どもの人口：0歳～15歳の人口



子育て環境に係る施策

妊娠・出産への環境づくり 4,772万円

安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めます

○健康診査事業(母子)

- ・ 妊婦健康診査費用の助成



○産後ケア事業(新)

- ・ 出産後の母子への心身のケアや育児のサポートを行う宿泊型事業(市立釧路総合病院との連携)の実施



保育園の遠足風景



子育て支援センター



子育て環境の充実 14億6,349万円



すべての子育て世帯への支援を行うため、
きめ細やかなサービスを提供します

○子ども・子育て支援事業計画策定事業(新)

- ・ 「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定

○教育・保育給付事業

- ・ 保育所や幼稚園から認定こども園への移行に基づく給付(計10施設)、道の制度や市の独自制度に基づく多子世帯への負担額の軽減、幼児教育無償化に係る経費

○利用者支援事業(新)

- ・ 子育て世代へのきめ細やかな情報提供や保育園・幼稚園の利用支援を行うための利用者支援専門員の配置 等

○幼稚園施設型給付事業

- ・ 私学助成を受ける幼稚園から、子ども・子育て支援新制度に移行する幼稚園への施設型給付(計2施設)、市の独自制度に基づく多子世帯への負担額の軽減 等

○児童発達支援センター通園バス購入事業(新)

- ・ 児童等利用者用マイクロバスの更新

○乳幼児等医療事業(拡)

- ・ 小学校入学前までの医療費助成(無料化)の拡充

子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てできるよう、乳幼児等医療助成制度の助成内容を拡大

これまで 3歳までの子どもの医療費を無料

2019年4月1日から 小学校入学前までの子どもの医療費を無料

学力向上に係る施策

～指導方法等の工夫改善～

- 研究センター研修講座による実践的な研修の実施
- 【重点】「学力向上セミナー」への参加機会の強化
- 基礎学力検証改善委員会の開催
- 【重点】「算数・数学科の委員」の増員による更なる授業改善
- 釧路市学校改善プランの作成・公表
- わかりやすい授業（ICTの活用）の取組

教員研修イメージ（授業づくり）



放課後学習イメージ（環境づくり）



授業づくり

「確かな学力」 の確立

環境づくり

～授業以外の学習の機会や時間の充実～

- 釧路市標準学力検査の実施・個別復習教材によるフォローアップ
- 放課後や長期休業中の補充的な学習サポートの実施
- 道教委配布問題（チャレンジテスト）の活用
- 釧路市の学習規律（スタンダード）の徹底

習慣づくり

～自ら学習する習慣、生活リズム～

- 学習習慣定着推進事業
- 【重点】学習推進員の配置と問題ゲーパースの活用による効果的な家庭学習習慣の定着
- 生活リズムチェックシートの活用

学力向上に係る施策

確かな学力の育成と個に応じた指導の充実 1,430万円



確かな学力を育成するため、一人ひとりの学力の状況を把握し、
個に応じたきめ細やかな指導の充実に努めます

- 確かな学力向上推進事業
 - ・ 標準学力検査の実施及び個別復習教材の導入、実物投影機導入
 - ・ 長期休業中の学習サポート 等
- 学力向上学習習慣定着推進事業
 - ・ 指定校を対象とした復習教材及び学習推進員による家庭学習等へのサポート
- 特別支援教育推進事業(拡)
 - ・ 医療的ケアを行う看護師の配置、専門家による巡回相談の実施 等

学校・家庭・地域の連携・協働の推進 412万円



「学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む」体制づくりを進めます

- コミュニティ・スクール活用推進事業(再掲)
 - ・ コミュニティ・スクールの導入及び運用に向けた取り組み
- 地域人材育成推進事業(再掲)
 - ・ 地域学校協働本部事業による地域学校協働活動推進員の配置 等
- 地域見守り安全マップづくり推進事業
 - ・ 各小学校区(4校)の「安全マップ」作成・配布

豊かな心と健やかな体の育成 1,401万円

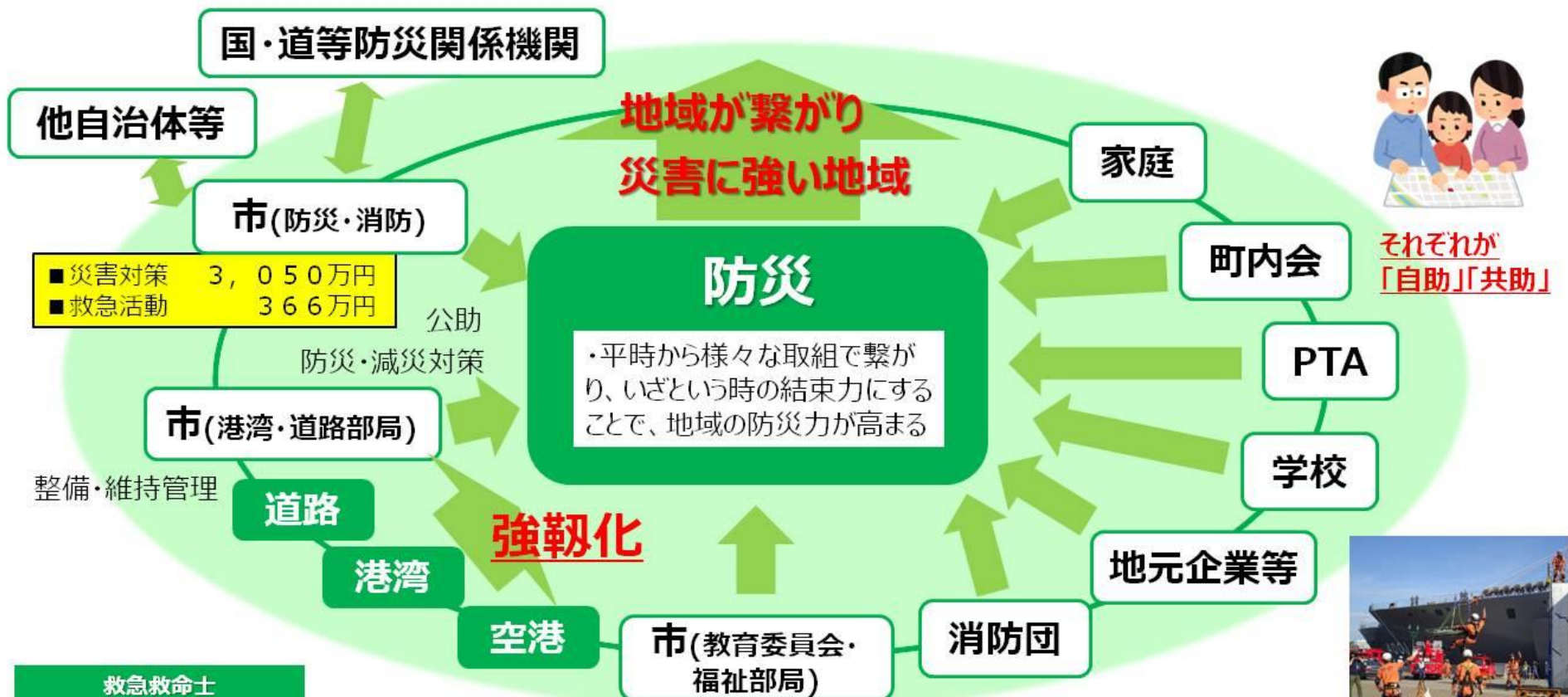
互いに尊重し協働する姿勢により人間関係を築く力を育む
とともに、自然災害などの危機から自らの命を守ることができる
よう、危機回避能力を高める教育の充実に努めます

- スクールソーシャルワーカー活用事業
 - ・ スクールソーシャルワーカーの配置による包括的な不登校対策
- いじめ非行防止対策事業
 - ・ Q-U、アセスによる学校適応度の把握等、「いじめ防止基本方針」
に基づくいじめ防止対策等の実施
- 防災教育推進事業(再掲)
 - ・ 地震・津波等の自然災害に関する体験的な学習の推進
- 口腔健康管理事業
 - ・ フッ化物洗口の全校実施(小学校)



防災に係る施策（域内連関）

様々な取組に「防災」の考え方を取り入れた地域コミュニティの形成



■災害対策	3,050万円
■救急活動	366万円

公助
防災・減災対策

整備・維持管理

救急救命士
認定資格者の養成



■西消防署・第9分団庁舎建設事業(新)	2億9,009万円
■団員活動(拡)	287万円
■消防車両購入	1億1,020万円
■避難行動要支援者避難支援事業	27万円
■防災教育推進事業	3万円
■市道整備事業	8億5,188万円

市民防災センターでの
地震体験の様子



【土砂災害情報の個別配信システムとは】

- 市内で土砂災害ハザードマップを作成している**140箇所**の**土砂災害警戒区域等**に居住している地域住民に対して、現在利用している登録制の釧路市防災メールを活用して、**土砂災害警戒区域毎に登録**を行う。
- 土砂災害の兆候現象が発見された場所の地域住民に対して、素早く早期避難又は避難勧告等を**個別に通知**して、土砂災害の危険から地域住民を守る。

【通知発信者】

釧路市

該当世帯へ個別通知

- ・避難準備、高齢者等避難開始
- ・避難勧告
- ・避難指示(緊急)
- ・避難所開設情報

【登録可能な個別通知先】

- 電子メール(携帯電話等)
 - 固定電話
 - FAX
- ※携帯電話をお持ちでない方
向け

桂恋地区 H25.9 台風後



都市機能向上に係る施策 ～拠点都市として持続可能なまちをつくる～

コンパクトなまちづくりの推進 762万円

将来にわたり持続可能な都市構造を目指すため、都市づくりの理念や土地利用、都市施設のあり方などを総合的に示す都市計画マスタープランの見直し検討を進めてまいります

○都市計画マスタープラン推進事業

- ・「都市計画マスタープラン」及び「緑の基本計画」見直し検討並びに計画に基づくまちづくりの推進 等

○立地適正化推進事業(拡)

- ・都市機能誘導区域内において対象となる誘導施設を整備する事業者への補助金

都心部の拠点性の向上 2,076万円

ひがし北海道の中核都市の顔として、都心部の賑わい創出を図ります

○釧路駅周辺整備推進事業

- ・「釧路都心部まちづくり計画(事業構想編)」の策定 等

持続可能な公共交通網の形成 690万円

誰もが利用しやすく持続可能な公共交通の実現を目指し、利便性が高く効率的な公共交通網を形成します

○地域公共交通再編事業(拡)(再掲)



- ・バス路線再編における乗換拠点の待合環境整備など地域公共交通再編に向けた事業推進
- ・鉄道利活用に係る協議会負担金 等

釧路駅～乗換拠点間の重複区間の集約、乗換拠点からの支線化による収支率向上
～市街地におけるゾーンバス化

■バス路線の段階的再編のイメージ (2019,2020～)



定時運行委託路線から予約型乗合タクシーへ変更



■乗換拠点の待合環境整備イメージ



バス番号	発	行	乗換	あと
1	15:00	●●行	乗換	あと 10分
2	15:00	▲▲行	乗換	遅れ 5分
3	15:10	●●行	乗換	あと 20分
4	15:15	●●行	乗換	あと 25分
5	15:30	●●行	乗換	あと 10分



釧路都心部まちづくり計画について(駅周辺のまちづくり)

【基本構想編の概要】

□ 都心部の将来像等を踏まえた駅周辺再整備のイメージ

○鉄道高架化、交差道路、土地区画整理による都市基盤整備を検討

○釧路の「顔」となる駅周辺空間の再整備と景観づくり

○駅南北の連続性が確保された、乗り継ぎ利便性に優れた交通結節機能の導入 など

○市民や来訪者のニーズに対応した都市機能の集積・誘導

○防災・減災のための機能確保

など

○賑わいを創出する歩行空間の利活用促進

など

○まちの“顔”づくりが進められている北海道内他都市の駅周辺整備事例



旭川駅前広場



イベント時の駅前広場



旭川駅 2014年整備 出典：旭川市HP



岩見沢駅 2009年整備 出典：岩見沢市HP